

日時：2004年9月24日9:00～26日12:30  
場所：中国、北京 Beijing International Convention Center  
(詳細については、<http://www.iacr.com.fr/beijing.htm> を  
ご覧下さい)

5月27日にプログラム委員会が開かれましたが、その  
時点で100を超える演題が集まっていました。7つのサ  
ブテーマ(途上国におけるがん登録、リスクファクター  
のサーベイランス、肺がん・食道がん・胃がんの予防、  
頭頸部がんの疫学、職業がん、発展途上国におけるがん  
検診、肝がんとその予防)毎にキーノート講演のあと口  
演発表がおこなわれます。また、ポスター発表もおこな  
われ、恒例の楽しい受賞発表もおこなわれる予定です。

さらに9月26日午後には、Cancer Institute/Hospital に会  
場を移して Asian Regional Meeting が開催されます。テー  
マは、Registries and Cancer Control Plans で、このたび IACR  
の理事長に選出された Dr. Parkin のキーノート講演のあ  
と7人のアジア各国からの演者(中国2人、タイ、イン  
ド、サウジアラビア、韓国、日本)が講演をおこなう予  
定です。

この学会は、小振りの和気藹々とした学会で、午前・  
午後の長い目のコーヒープレイクと毎夕のイベントが用  
意されており、地域がん登録の国際的な状況を実際に担  
当している方を通じて知る絶好の機会です。演題発表を  
しなくても、参加する値打ちがあると考えます。

昨年5月施行された健康増進法(第16条)を受けて、  
ようやく日本においても、国が地域がん登録に積極的に

関与するようになり、「地域がん登録の後進国」から脱却  
できる見通しが出てきました。これまでとは異なり、新  
たな前向きな気持ちで参加することができると思います。  
奮ってご参加下さい。

#### <編集後記>

健康増進法の施行、個人情報保護法の公布、地域がん  
診療拠点病院の指定、第3次対がん戦略の開始、祖父江  
班による登録標準化と、日本の地域がん登録は大きな変  
革のうねりの中にあります。今回の冒頭には厚生労働省  
生活習慣病対策室の奥田浩嗣先生に新設の丸山班の動き  
を含めた総説記事を頂戴致しました。また大島先生の記  
事によれば IACR で個人情報保護の新しいガイドライン  
改訂に新しい動きがあるようです。初めての編集担当で  
何かとご迷惑をおかけするかと存じますが、今後とも本  
Newsletter へのご指導とご支援を宜しくお願い申し上げ  
ます。杜の都仙台でお会いできることを楽しみにしつつ  
(美味しい牛タンも!) (三上春夫)

巻頭言の奥田先生の報告、また、大島先生の報告の中  
にも書かれていますように、日本でもやっと、がん登録  
法の整備に向けた動きが出てまいりました。祖父江班の  
新たな取り組みも全国のがん登録関係者が注目してい  
るところと思われます。このような中、これまでの読者の  
立場から、初めて作る側の立場になり、このニューズレ  
ターの重要性和編集責任の重さを改めて実感している  
ところです。最後になりますが、記録的な猛暑が続く中、  
皆様どうぞ御自愛下さいませ。(早田みどり)

#### 2004-2005年 関連学会一覧

8月23-27日	がん登録実務者研修	国立がんセンター
9月2-3日	地域がん登録全国協議会総会研究会(第13回)	仙台市 宮城県庁講堂
9月14-16日	国際がん登録学会(IACR)(第26回)	Beijing, China
9月29-10月1日	日本癌学会(第63回)	福岡市 福岡国際会議場 他
10月27-29日	日本公衆衛生学会(第63回)	松江市 くにびきメッセ
1月21-22日	日本疫学会(第15回)	大津市 ピアザ淡海
1月24-28日	がん登録実務者研修	国立がんセンター

発行 地域がん登録全国協議会 Japanese Association of Cancer Registries 理事長 大島 明  
事務局 〒537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3 大阪府立成人病センター内  
TEL: 06-6972-1181 (2314), 06-6977-2030 (直) FAX: 06-6977-2030 (直), 06-6978-2821  
URL: <http://home.att.ne.jp/grape/jacr/>